



# 2022 年度 東京医科大学

## 【 講 評 】

第1問は「アクセント問題」。見慣れない単語が一部に含まれているが、接尾辞によるアクセントのパターンや品詞によるパターンを利用すれば正解を絞り込むことは難しくはない。第2問は「語彙・イディオム問題」。レベルは標準～やや難。cの *creed* はやや難単語。第3問は「語句整序英作文」。レベルはやや易。基本的なイディオムや構文で解けるので全問正解が望ましい。第4問は「日本におけるマスクの歴史」に関する長文問題。レベルは標準。身近なテーマで読みやすい。ここでも高得点を狙いたい。第5問は「タイに導入されたナイルティラピア」に関する長文読解問題。レベルは標準。例年数の多さが注目されている内容真偽問題の選択肢が今年度は12題。本文と照合しながら読み進めていけば効率よく解ける。英文和訳問題は「数万の」の表現と〈結果〉を表す分詞構文の訳出がポイント。

## 【 解 答 ・ 解 説 】

### 第1問

1 ④

・④ *pa·role* 「仮釈放」は第2音節にアクセント。他は第1音節にアクセント。

2 ④

・④ *syn·thet·ic* 「統合の」は第2音節にアクセント。通常 *-ic* の直前にアクセントがくる。

他は第1音節にアクセント。

3 ①

・① *as·sas·sin* 「暗殺者」は第2音節にアクセント。他は第1音節にアクセント。

4 ⑤

・⑤ *pros·e·cu·tion* 「起訴」は第3音節にアクセント。通常 *-tion* の直前にアクセントがくる。他は第2音節にアクセント。

5 ①

・① *dis·ad·van·tage* 「不利」は第3音節にアクセント。他は第2音節にアクセント。

### 第2問

a. 6 ⑤ 「今日の医学界では、私たちは人工知能なしではやっていけない」

・ *dispense with A* 「Aなしで済ます」、*do (go) without A* と同意表現。

b. 7 ③ 「消防士や山岳救助隊が火を消すのに数日かかった」

・ *extinguish O* 「Oを消す」

・ *it takes O1 O2 to do...* 「O1 が…するのに O2(時間)かかる」

- c. 8 ⑤ 「その新法は、人種、信条、肌の色に関わらずすべての人に適用されると大統領は宣言した」
- creed 「(宗教上の) 信条、主義」
  - irrespective of A 「Aに関わらず」
- d. 9 ④ 「研究者たちは4つの異なる研究を結び付け、うまく統合し整合性のとれた統一体を生み出すことに成功した」
- coherent 「首尾一貫した、整合性のとれた」
- e. 10 ⑤ 「夏休みの間、ジェーンは食中毒に苦しんだ」
- be afflicted with A 「Aに苦しむ」
- f. 11 ⑤ 「戦争の勃発はまさに政府が避けたかったことだった」
- precisely 「まさに、正確に」

### 第3問

- a. 12 ② 13 ⑥ [④②③①⑥⑤]

[The final exam had been seriously flawed as to render the results meaningless.]

「期末試験には結果を無意味にしてしまうほどの深刻な瑕疵があった」

- render O C 「OをCにする」 (=make O C)

\*一般的には〈so+形容詞/副詞+as to do〉で「…するほど～」の意味だが、本問では seriously の前の so が抜けている。

- b. 14 ① 15 ⑤ [⑥①③②⑤④]

[The media was accused of attempting to manipulate public opinion.]

「そのメディアは世論を誘導しようとして非難された」

- accuse A of B 「AをBの理由で非難する、告訴する」の受動態が用いられている。
- manipulate O 「Oを操る」
- public opinion 「世論」

- c. 16 ① 17 ② [④①⑥⑤②③]

[The sad but true story of her son finally came home to the mother.]

「悲しいが真実である彼女の息子の話は、最後には母親の胸にぐさりと刺さった」

- come home to A 「(事実や困難なことが) […に]痛切に感じられる」

\*④と⑥は逆でも可

- d. 18 ⑤ 19 ③ [②④⑤⑥①③]

[The headmistress could not put up with the student's idleness any longer]

「女性校長はその生徒の怠慢な姿勢にもはや我慢の限界であった」

- put up with A 「Aを我慢する」
- not...any longer 「もはや…ない」

- e. 20 ⑤ 21 ④ [③②⑤①④⑥]

[Final decisions were made on the spur of the moment without proper consideration of the effects.]

「影響について適切な検討もせずに、最終決定が唐突に下された」

- on the spur of the moment 「出来心で、突然に」

f. 22 ① 23 ④ [②①③⑥④⑤]

[The old man's debt began to accumulate due to the interest on his loan.]

「その老人の借金はローンの利息のためにどんどん増え始めた」

・ interest on A 「A の利息」

#### 第4問

24 ② 「レポーターとヒライ氏の間で行われたインタビューは\_\_\_\_\_」

・ 第1段落1・2文目(Masks have become...)で、「長引くコロナ禍でマスクが不可欠なものになったが、日本においてマスクの歴史は広くは知られてはいない。それについてもっと知るために薬剤師のヒライ氏に話を聞いた」と述べられている。したがって、②「日本人によるマスクの利用には歴史があると明らかにした」が正解となる。

25 ③ 「明治時代には、\_\_\_\_\_」

・ 第4段落3文目(At the time...)に「当時マスクは主に輸入されていた」とある。また、第3段落最終文(Its interior was...)に当時のマスクの形状についての説明があり、「マスクの内側は赤色で、中に鉛筆の芯ほどの太さの金属の棒が取り付けられている」と述べられているため、現代のマスクとはかなり形状が異なることがわかる。したがって、③「マスクはほとんど輸入され、現代のマスクとは形状がかなり異なっていた」が正解となる。

26 ②

・ 第10段落1文目(While running a...)に「ヒライ氏は故郷で薬局を経営しながら全国の古物市場に足を運んでいる」と述べられている。したがって、②「ヒライ氏は薬剤師だが、マスクを集めるためにあちこちの都道府県を訪ねることにしか興味がないので、薬局では働いていない」が本文と一致せず、正解となる。

・ ①「マスクの機能だけでなく、デザインも重要だと考えられているのは日本だけだとヒライ氏は述べている」

・ ③「使い捨てマスクは便利で衛生的なので花粉症の増加とともに一般的になった」

・ ④「日本人はマスクをファッションアイテムとして楽しむ歴史を持っている」

27 ④

・ 空所を含む文は「非常に小さいが、そのマスクはやや重いと\_\_\_\_\_」という意味。空所に「…だとわかる」の意味の turn out(to be C)を入れると文脈に合う。したがって、④が正解となる。

28 ③

・ 空所を含む文は「レポーターは、日本で2020年に全戸に\_\_\_\_\_無料の『アベノマスク』をコレクションに加えたかどうか訊ねた」という意味。空所に「配る」の意味の distribute の過去分詞を入れると文脈に合う。したがって、③が正解となる。

29 ②

・ essential は「不可欠な、本質的な」の意味。したがって、② crucial が正解となる。

・ 下線部を含む文は「マスクは長引くコロナ禍で不可欠なアイテムとなった」となる。

30 ②

・ shortage は「不足」の意味。したがって、② deficit が正解となる。

・ 下線部を含む文は「材料の不足は安くて平らなガーゼのマスクの登場につながった」となる。

・本文では、「明治時代から現代までの日本のマスクの歴史」が述べられている。したがって、④「日本のマスク着用の歴史を見る」が正解となる。

・①「マスクと医療のヒライ氏の歴史」、②「明治時代における愛国的マスクの贅沢」、③現代のマスクという用語を詳しく見る」

## 第5問

### A. 32 ② ⑤ ⑧ ⑨

①「タイには牛乳と蜂蜜がいつでも豊富にある」

・第1段落の the land of milk and honey という表現は「豊かな土地」を意味する慣用表現で、実際の牛乳と蜂蜜を意味しているわけではない。したがって、本文の内容と一致しない。

②「ナイルティラピアは幼体が成魚になるまで口の中で養育するので口内哺育魚としても知られている」

・第2段落1文目(The mouthbrooder—a name...)の内容と一致する。

③「日本の皇太子が1964年タイを訪れた際にナイルティラピアを初めて発見した」

・第3段落1文目(The origin of...)に「ナイルティラピアのタイでの人気の始まりは1964年に日本の皇太子がタイを訪問したときまでさかのぼる」とあるが、皇太子がナイルティラピアを発見したとは述べられていない。したがって、本文の内容と一致しない。

④「スミス博士がその魚を発見し、現在のタイ国王 Mahidol Adulyadej 王子に敬意を表して名づけた」

・第5段落2文目(First, the fish...)で、Mahidol Adulyadej 王子は現在の国王ではなく、国王の父親であると述べられているため、本文の内容と一致しない。

⑤「スミス博士は水生生物保護局の初代局長だった」

第5段落最終文(Smith, later on...)に「後に、スミスは水生生物保護局の初代局長になった」とあるため、本文の内容と一致する。

⑥「1965年に皇太子は寄贈品として、ナイルティラピアの稚魚を10,000匹 Bhumibol 国王に送った」

・第7段落1文目(In 1965, King...)で、「Bhumibol 国王が皇太子にティラピアを送ってほしいと手紙を書き、それに対して皇太子はティラピアの稚魚を50匹送った」と述べられ、3文目(Up to 10,000...)では「10,000匹の稚魚が後に水産庁に寄贈された」とある。したがって、本文の内容と一致しない。

⑦「最初のナイルティラピアの一群は水産庁の池で飼われた」

・第7段落2文目(The first batch...)に「最初のナイルティラピアの一群は、チットラダー宮殿の池で飼われた」とあるため、本文の内容と一致しない。

⑧「コメ農家たちが田植え期に育て、収穫を待っている間の栄養源と副収入にするために、Bhumibol 国王はナイルティラピアを導入したかった」

・第8段落2文目(In fact, the late...)に「種まき期に田んぼで育てるためにナイルティラピアを導入したのは、Bhumibol 国王の独創的なアイデアだった」とある。続く3文目(Rice farmers could...)で「コメ農家は魚からタンパク質をえっ種できる」と述べられ、さらに4文目(The farmers could...)で「コメ農家たちは収穫を待っている間はその魚の養殖で副収入が得られる」とある。したがって、本文の内容と一致する。

⑨「この魚のおかげで、持続可能な食糧確保を推し進めながら、ほとんどのタイ人はある種の『自己免疫』を獲得し、突然のショッキングな出来事や思わぬ影響にある程度対応できるようになった」

・第9段落1文目(Access to such...)に「そのような高品質のタンパク質のおかげで、タイ人は突然の偶発的出来事に抵抗する力や『自己免疫』を獲得できた」とある。2文目(this is in...)では「これは持続可能な食糧確保を促進しながら、予期せぬ出来事や思わぬ影響への備えを確保しようという充足経済哲学(the Sufficiency Economy Philosophy)と一致する」と述べられている。したがって、本文の内容と**一致する**。

⑩「王室からの支援がなくても、水産庁はナイルティラピアの大量生産を推進することができた」

・第10段落1文目(With royal support...)に「王室の支援と指導のために、水産庁は大規模な商業目的の養殖のためのナイルティラピアの大量生産を推進する養殖技術を導入することができた」とあるため、本文の内容と**一致しない**。

⑪「ティラピアの魚卵を育てる人工の容器を使用することで、自然の口内哺育に関係のある突然変異や稚魚の死が減る」

・第10段落2文目(The latest innovation...)に「最新技術では、親魚の口内環境を模した人工の飼育器の中で魚卵を育て、それによって自然の口内哺育から離れたことに関連した突然変異や稚魚の死亡率へ減る」とある。ここから、突然変異や稚魚の死は人口飼育によるものだとわかる。したがって、本文の内容と**一致しない**。

⑫「ナイルティラピアのおかげで、人々は安定した生計を得ただけでなく、それは食糧確保と経済的繁栄を支え、充足経済を除いた収入源になっている」

・第11段落3文目(It also supports...)に「ナイルティラピアは人々に安定した生計を提供しただけでなく、食糧確保と経済的繁栄を支え、充足経済に一致する安定した収入源を提供する」と述べられている。充足経済を「除いて(exclusive of)」ではなく「一致して(in line with)」とあるため、本文の内容と**一致しない**。

## B.

33 ①

・ accessible は「利用可能な」の意味なので、① available が正解となる。

34 ②

・ offspring は「子、子孫」の意味なので、② descendant が正解となる。

35 ③

・ specimen は「見本」の意味なので、③ sample が正解となる。

36 ①

・ coincidental は「偶然に一致した」の意味なので、① accidental が正解となる。

37 ②

・ ingenious は「巧妙な、独創的な」の意味なので、② clever が正解となる。

38 ③

・ generate は「生み出す」の意味なので、③ produce が正解となる。

C.

Tens of thousands of tons of plastic are produced annually, providing stable livelihood to countless families in Thailand and abroad.

「年間数万トンのナイルティラピアが養殖され、タイやその他の国にある非常に多くの家庭に安定した生計の手段を提供している」

- tens of thousands of A 「数万の A」
- providing...は〈結果〉を表す分詞構文。
- stable 「安定した」
- livelihood 「生計(の手段)」
- countless 「無数の、非常に多くの」



お問い合わせは ☎ 0120-302-872

<https://keishu-kai.jp/>